

FY21 Q2

# 決算説明資料

株式会社ビーネックスグループ

2021年2月12日

## I 連結ならびにセグメント業績

## II 経営計画の進展・今後の展開

- 上期の売上高は期初予想どおり、利益は予想を大幅に上回って着地
- Q2の進捗はQ1比で順調に回復。売上高が11.7%上昇、EBITDAは56.5%上昇
- IFRS採用企業は利益に雇調金等が含まれるため、比較のため雇調金等を含めた金額を記載

単位：百万円	FY21 (3カ月)			FY21 (累計)			FY21 予想 (8月発表)	
	Q2	Q1比	YoY	H1	YoY	期初予想比	H1	通期
売上高	19,819	+11.7%	▲3.4%	37,563	▲8.1%	+0.5%	37,378	77,800
売上総利益	3,874	+24.5%	▲9.0%	6,985	▲16.7%	▲2.0%	7,130	15,669
利益率	19.5%			18.6%			19.1%	20.1%
販管費	2,430	+7.8%	▲13.0%	4,685	▲17.0%	▲11.6%	5,299	10,869
販管费率	12.3%			12.5%			14.2%	14.0%
営業利益	1,443	+68.5%	▲1.3%	2,300	▲16.1%	+25.6%	1,831	4,800
利益率	7.3%			6.1%			4.9%	6.2%
営業利益+雇調金等	1,751	+65.2%	+19.8%	2,812	+2.6%	+53.6%	1,831	4,800
利益率	8.8%			7.5%			4.9%	6.2%
EBITDA+雇調金等	2,052	+56.5%	+12.2%	3,362	▲1.2%	+38.4%	2,430	6,000
利益率	10.4%			9.0%			6.5%	7.7%
四半期純利益	1,182	+100.4%	+32.1%	1,773	+7.5%	+80.7%	981	2,700
利益率	6.0%			4.7%			2.6%	3.5%

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

# 通期業績・配当予想について

- 夢真ホールディングス(以下、夢真HD)との合併契約の締結による合併の影響を現時点で正確に算定することが困難なため、通期業績予想は「未定」へ変更。Q3決算発表時を目途に通期業績予想を開示予定
- 期末配当予想は、夢真HDの株主還元方針を継承し、1株あたり25円に記念配当2円を加え27円へ修正

## ● 通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2020/8/7発表	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円)
通期業績予想	77,800	4,800	4,800	2,700	63.00
今回発表予想	未定	未定	未定	未定	未定

## ● 配当予想の修正

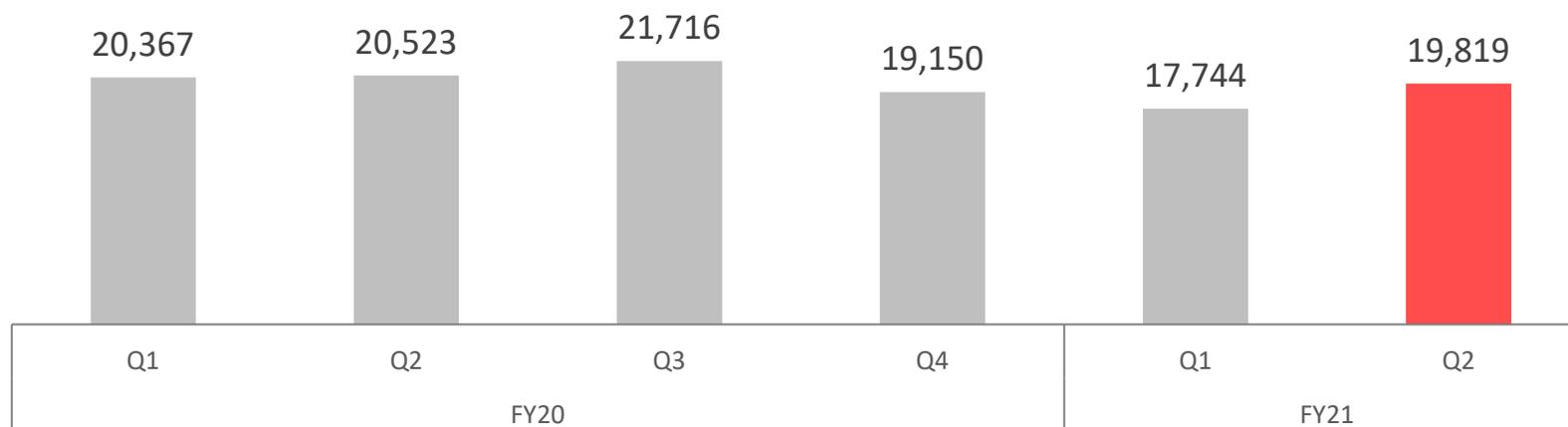
	第2四半期末	期 末	合 計
2020/8/7発表	(円)	(円)	(円)
配当予想	17.00	25.00	42.00
今回発表予想	17.00	27.00	44.00

# 連結 四半期推移

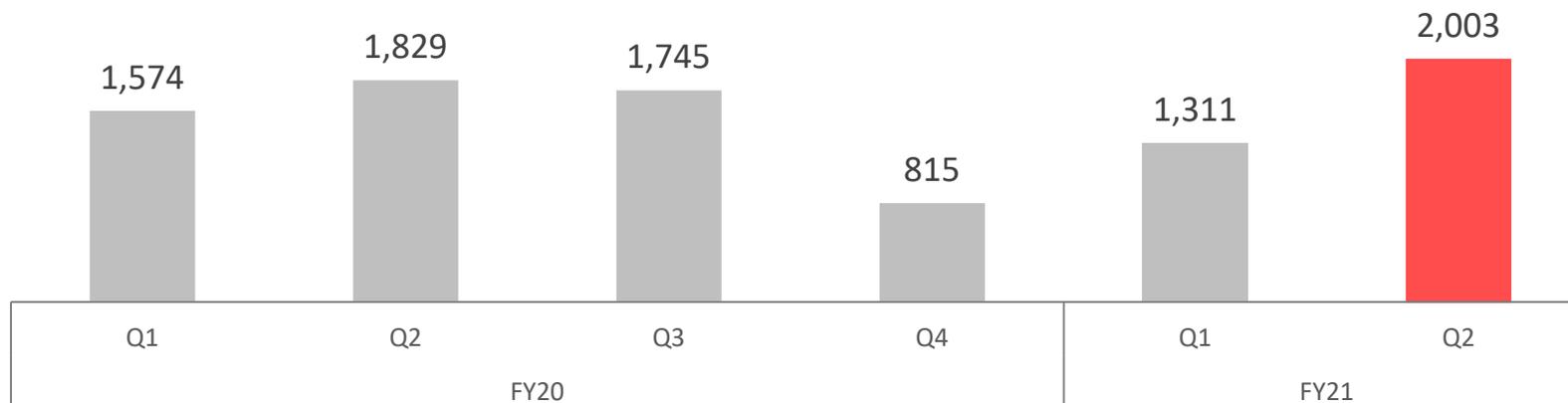
■ 売上高：Q2はQ1比で反転

■ EBITDA：Q2は順調に回復

## 売上高 (単位：百万円)



## EBITDA+雇調金等 (単位：百万円)



※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

# セグメント業績 四半期推移

- Q1比で全セグメントで増収増益、回復基調に
- 前年同期比でも営業利益+雇調金は全セグメントで増益

単位：百万円		FY20				FY21			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q1比	Q2YoY
売上高	技術	10,702	10,848	11,304	11,030	10,657	10,718	+0.6%	▲1.2%
	製造	2,388	2,390	2,237	2,005	1,935	2,157	+11.4%	▲9.8%
	海外	7,275	7,283	8,173	6,113	5,150	6,942	+34.8%	▲4.7%
	その他/調整	0	0	0	0	0	0	122%	108%
営業利益+雇調金等	技術	1,346	1,402	1,594	885	1,288	1,680	+30.4%	+19.8%
	製造	65	117	72	▲92	35	202	+476.0%	+72.5%
	海外	22	118	100	56	29	135	+359.8%	+14.3%
	その他/調整	▲155	▲176	▲325	▲367	▲292	▲266	-	-
EBITDA+雇調金等	技術	1,462	1,599	1,757	1,061	1,431	1,820	+27.2%	+13.8%
	利益率	13.7%	14.7%	15.5%	9.6%	13.4%	17.0%	+3.6pt	+2.3pt
	製造	69	121	77	▲85	39	207	+426.4%	+70.1%
	利益率	2.9%	5.1%	3.4%	▲4.2%	2.0%	9.6%	+7.6pt	+4.5pt
	海外	198	283	235	188	122	262	+113.8%	▲7.5%
	利益率	2.7%	3.9%	2.9%	3.1%	2.4%	3.8%	+1.4pt	▲0.1pt
	その他/調整	▲155	▲175	▲325	▲349	▲282	▲255	-	-

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

\*FY20の各Qは2021年1月のHD会社化の影響を加味

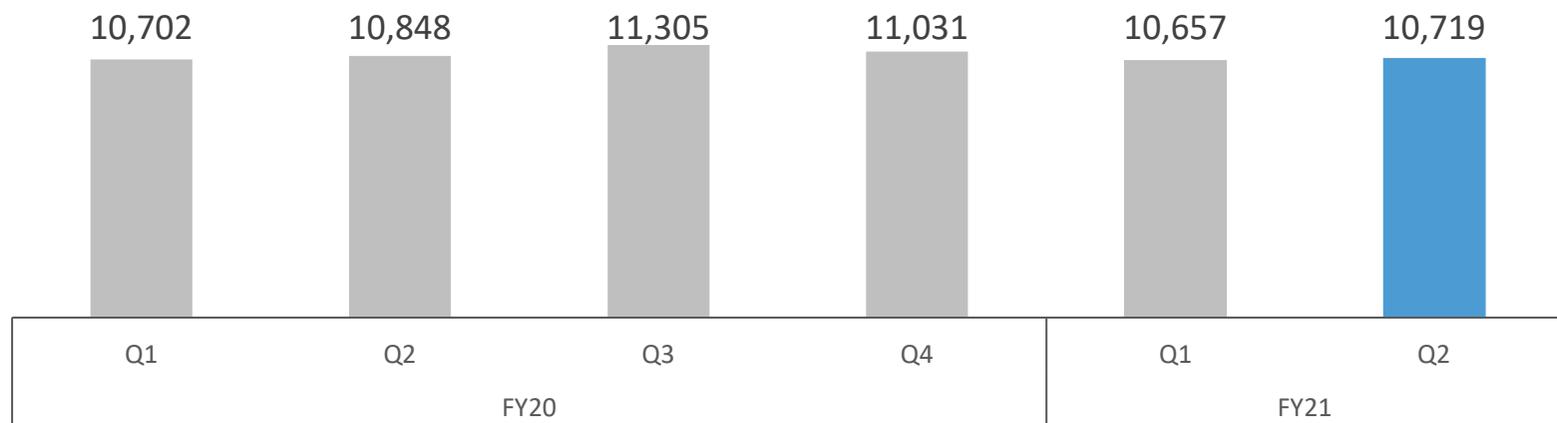
\*Q1以降はHD化で技術セグメントとその他調整で入り繰り（約2億円）

# 技術系領域

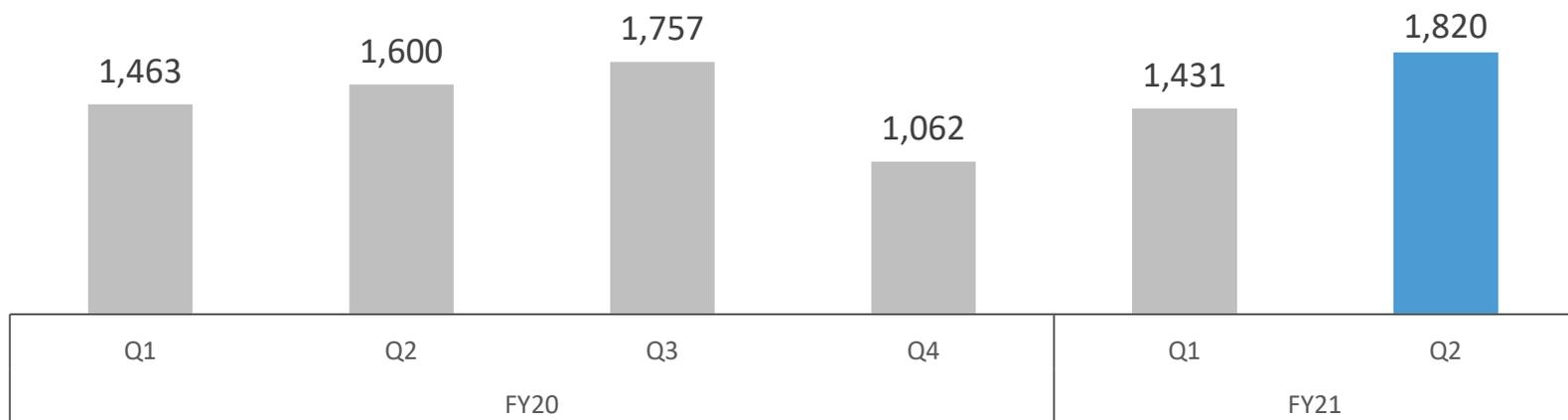
# 技術系 四半期推移

- 売上高：Q2は稼働日数増によりQ1水準を維持
- EBITDA：稼働率の回復とコスト抑制により増益

**売上高** (単位：百万円)



**EBITDA+雇調金等** (単位：百万円)

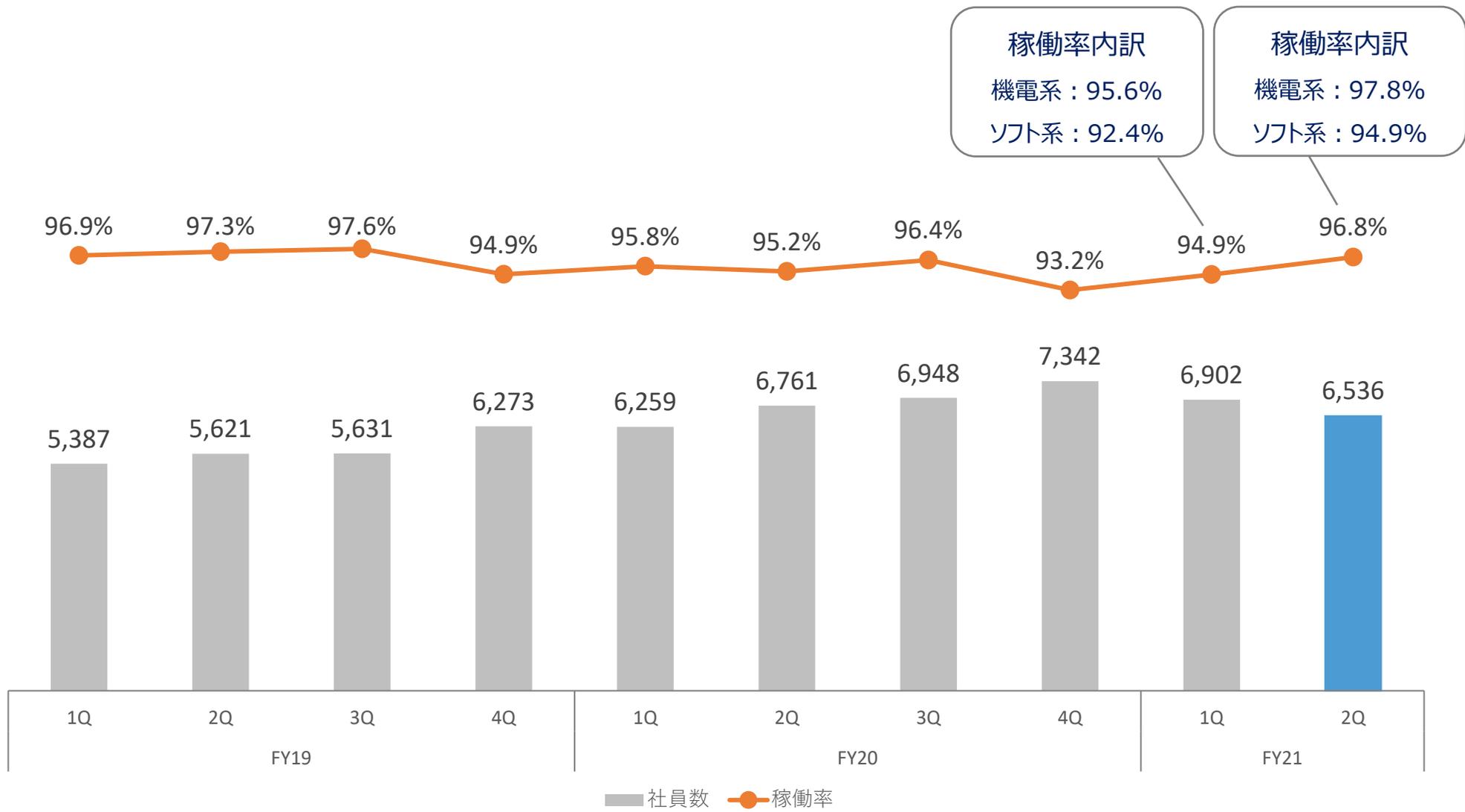


※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用  
 ※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

\* FY20の各Qは2021年1月のHD会社化の影響を加味

# 技術系領域 社員数・稼働率

- 採用活動の抑制により社員数は減少（Q1比▲366名）
- 非稼働社員の減少により稼働率が改善（Q1比+1.9pt）



※ 稼働率=(稼働社員数+BP)÷(社員数+BP-休職者数)

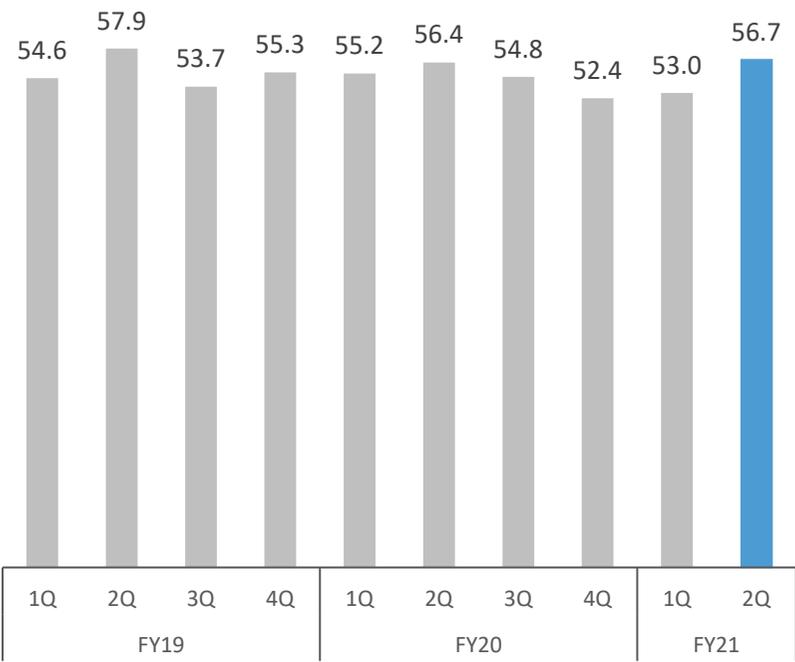
# 技術系領域(機電系\*) 稼働日数・残業時間

※ 機電系は時間請求の一方、ITソフトは月極め契約が多い

- 稼働日数は四半期比で回復傾向
- 残業時間は昨年比でまだ低水準だが回復傾向

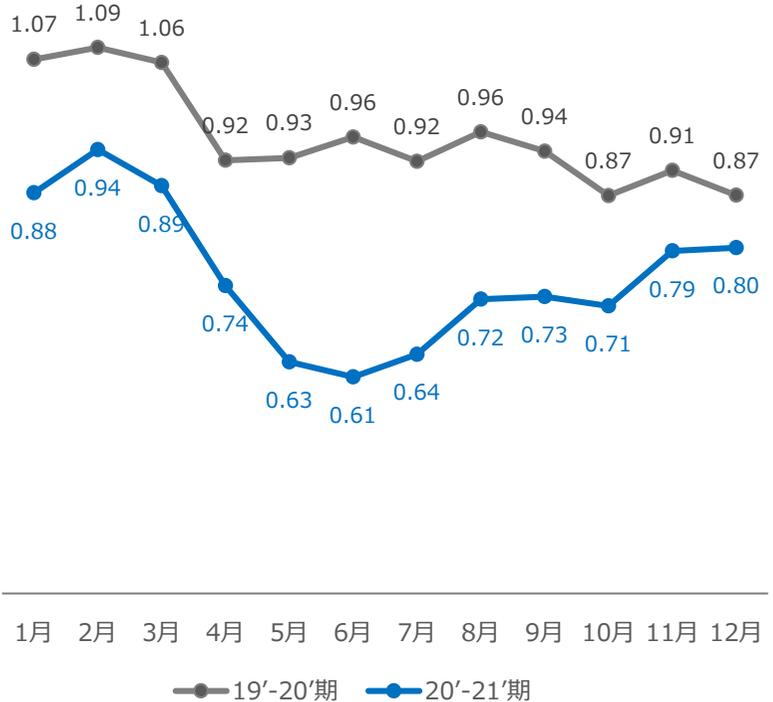
## 稼働日数

(単位：日)



## 残業時間

(単位：時間/日・人)

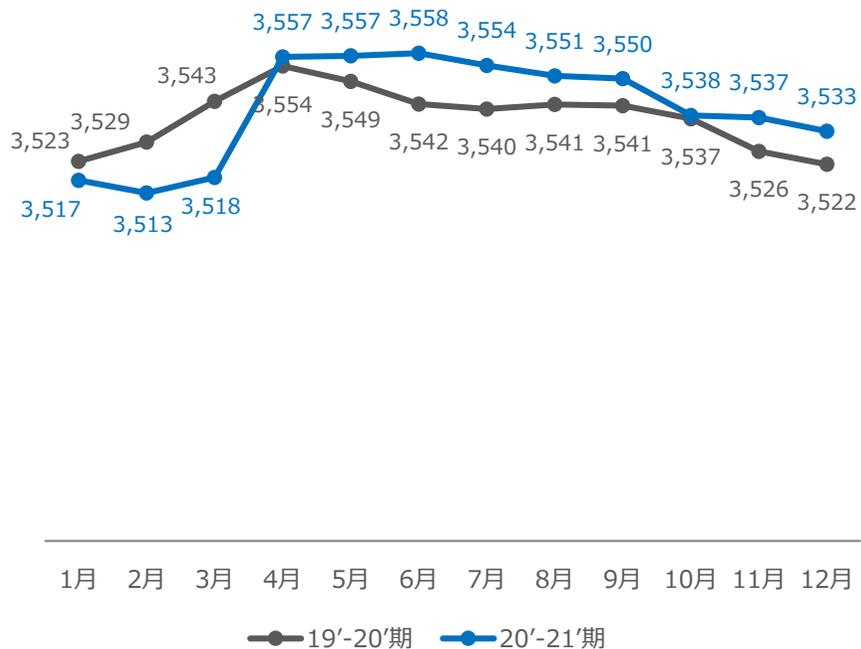


# 技術系領域 契約単価/請求額

- 機電系は4月に契約単価が上昇して以降、前年を上回って安定推移
- ソフト系は昨年度のアクシス買収に加え、未経験者の積極採用により請求単価が低下。今年に入り採用抑制するも組込ソフト(自動車系)の休業や時短により請求単価は横ばい

## 機電系 契約単価

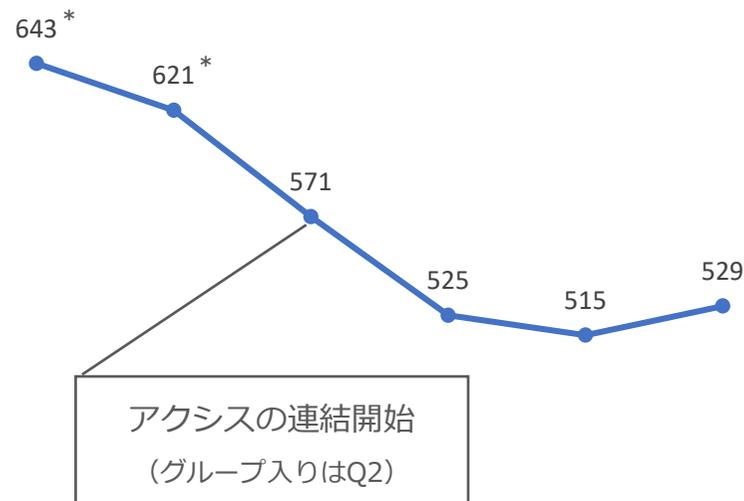
(単位：円/時間・人)



※ 請負売上は含みません

## ITソフト 請求額

(単位：千円/月・人)

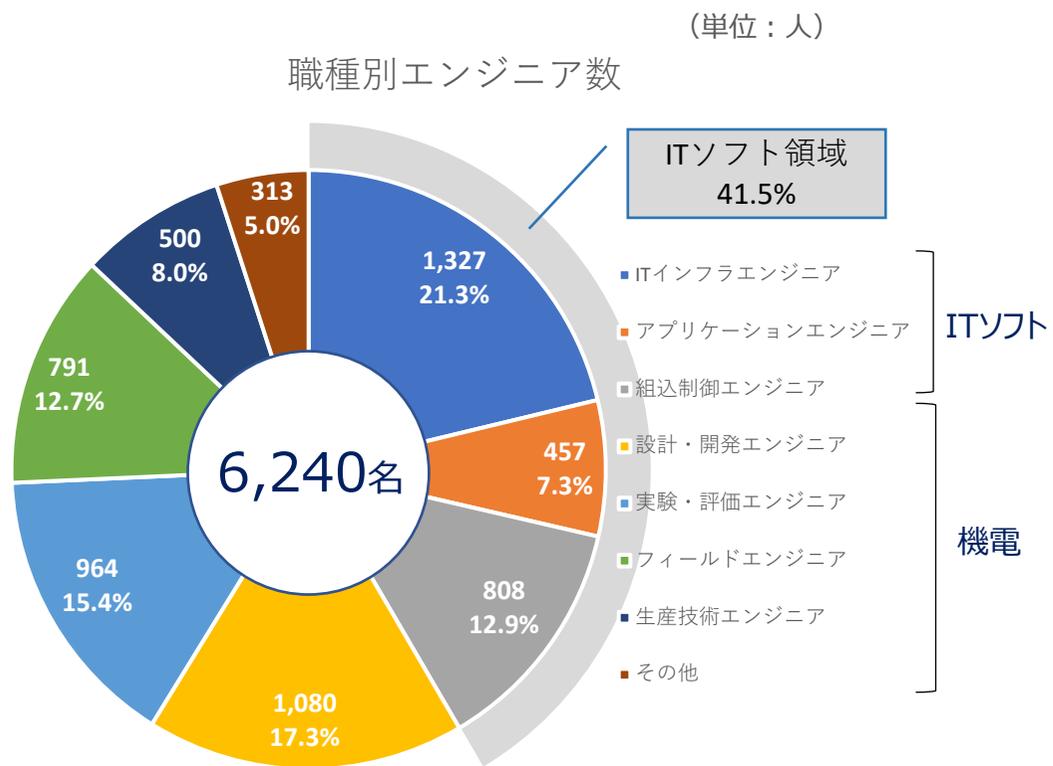


Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
FY20				FY21	

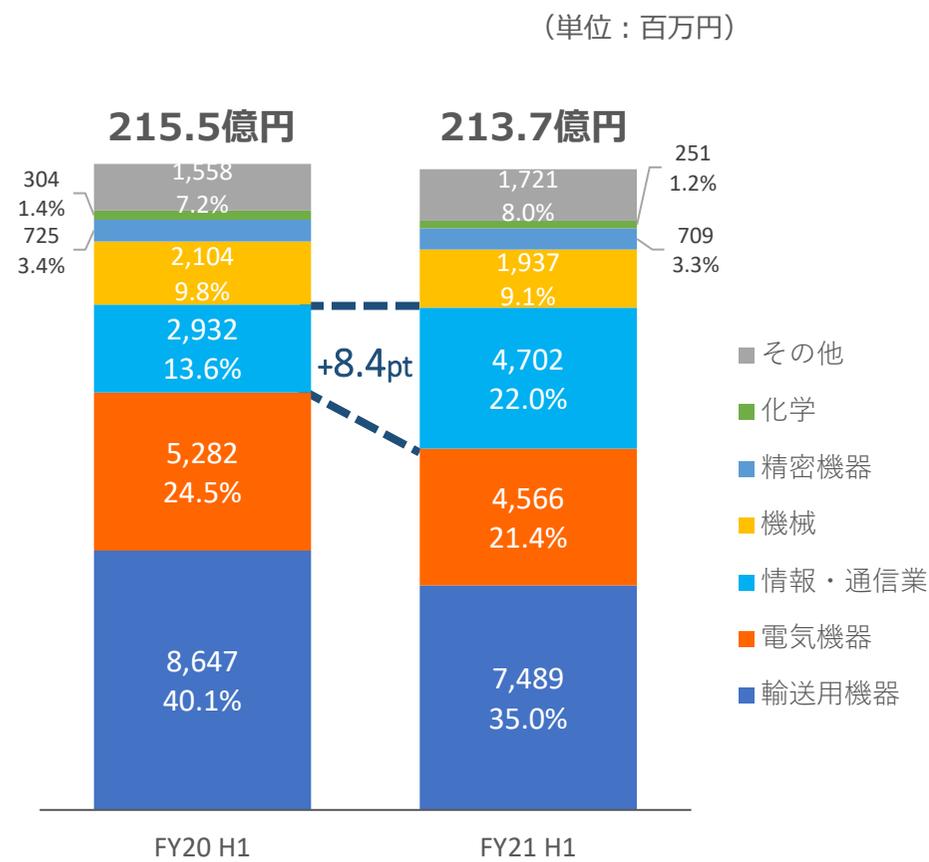
\* アクシスの連結開始の時期など集計ミスが判明したためQ1決算資料の値を修正  
 ※ 請求額 = 売上高 ÷ 平均稼働社員数

- 職種別：ITソフト系拡大の事業戦略により、ITソフトウェア関連のエンジニアが41.5%占める
- 業種別：情報・通信の割合が20%を超える

## 職種別稼働エンジニア数



## 業種別売上高



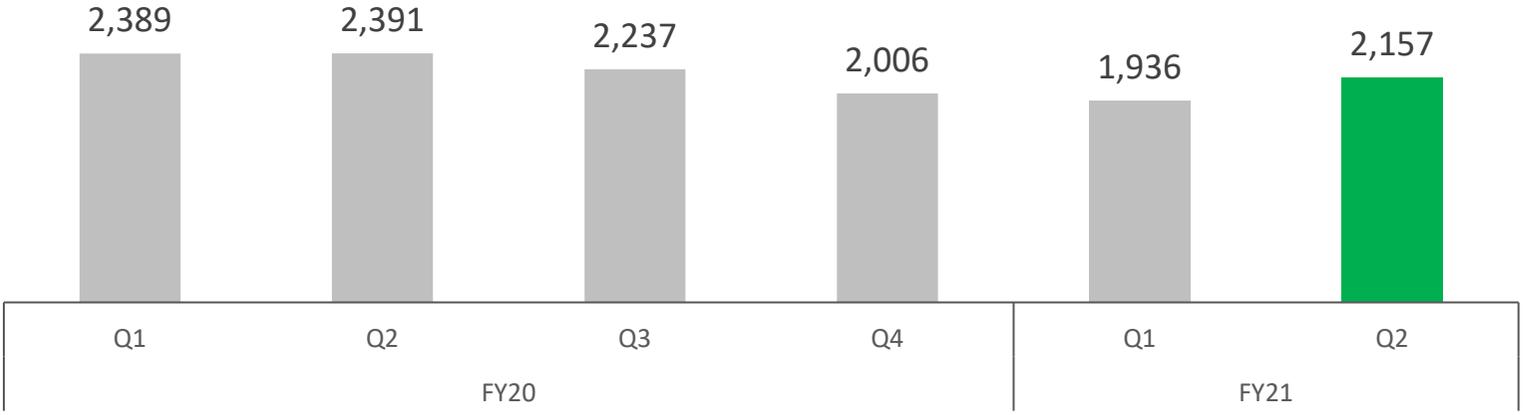
※BP除く

# 製造系領域

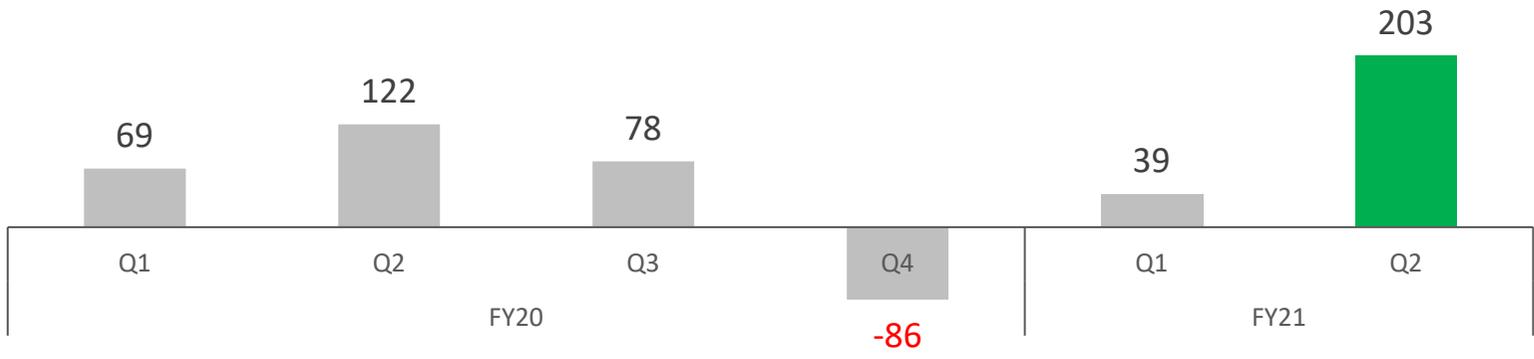
# 製造系領域 四半期推移

- 売上高：Q1比増収。Q1をボトムとし今後は回復見込み
- EBITDA：プロジェクトの収益管理の実施が奏功し、Q1比・前年同期比で増益

**売上高** (単位：百万円)



**EBITDA+雇調金等** (単位：百万円)



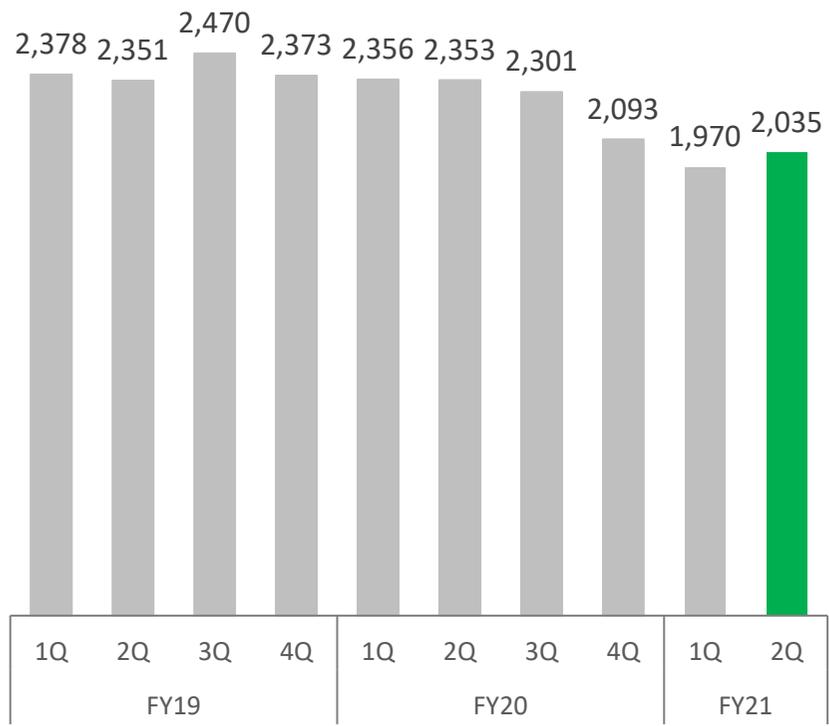
※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用  
 ※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

# 製造系領域 社員数・稼働日数

- 社員数：プロジェクトの収益管理の実施が完了し、社員数は再び増加へ
- 稼働日数：Q1比で回復

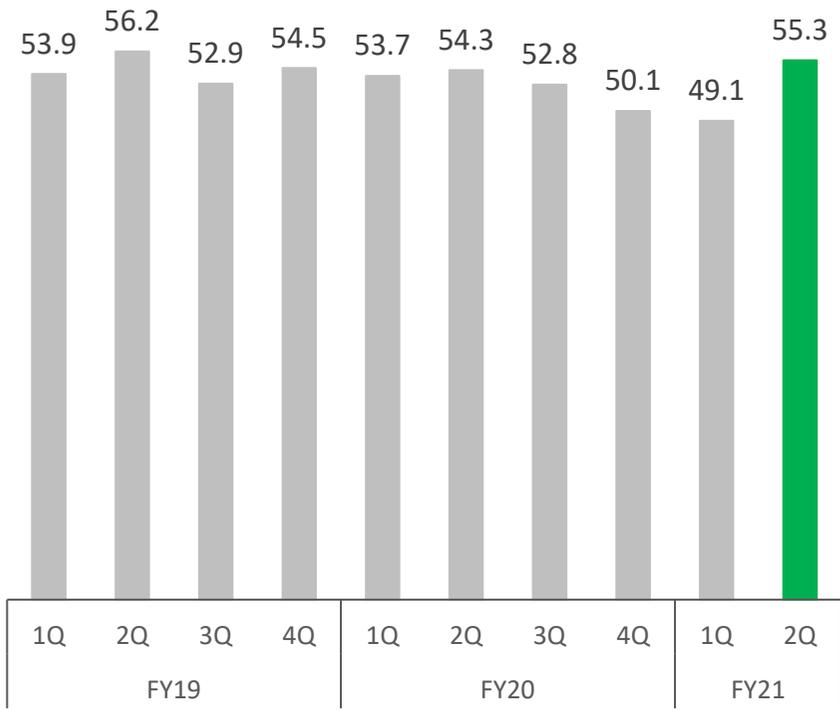
## 社員数

(単位：人)



## 稼働日数

(単位：日)



# 製造系領域 契約単価

- 契約単価：2,000円台を維持し利益向上を目指す
- 業種別売上高：幅広い業界に顧客が分散化し、特定顧客企業への依存はない

## 契約単価

(単位：円/時間・人)

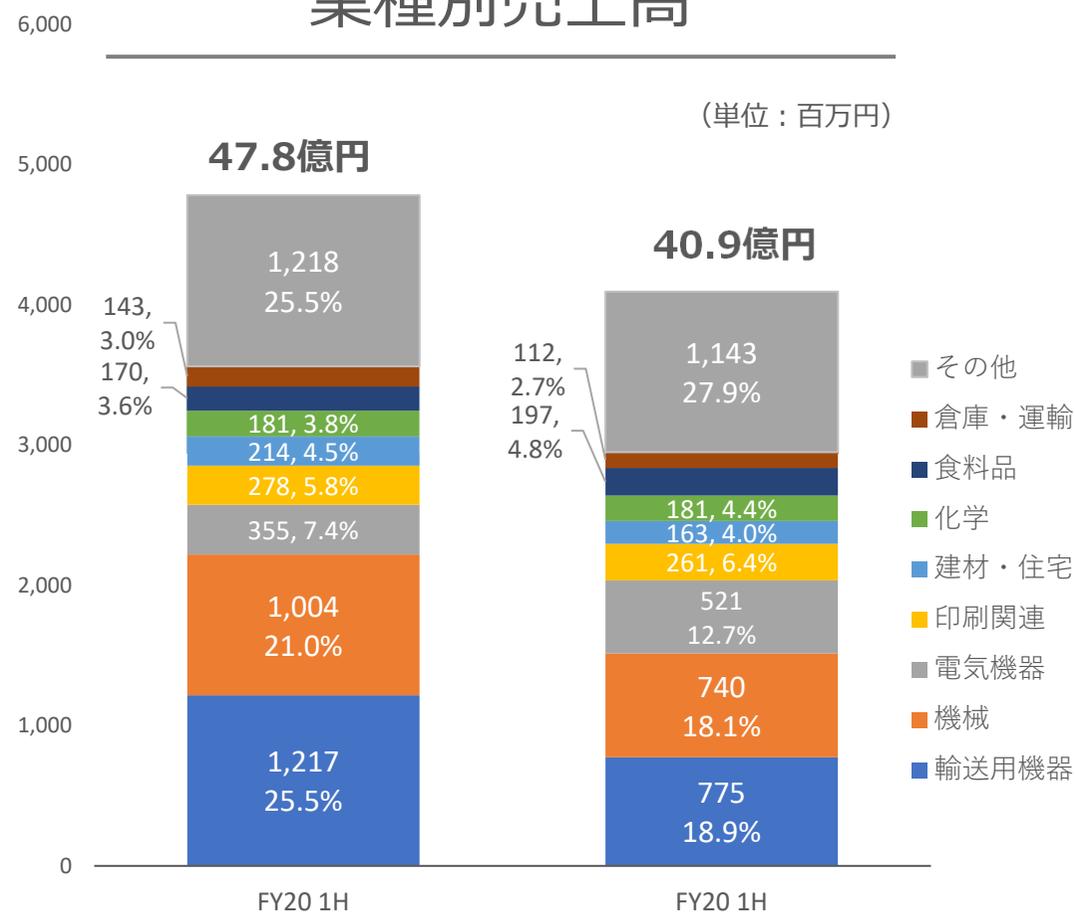


FY19 Q1 FY19 Q2 FY19 Q3 FY19 Q4 FY20 Q1 FY20 Q2 FY20 Q3 FY20 Q4 FY21 Q1 FY21 Q2

※ 請負売上を除く

## 業種別売上高

(単位：百万円)

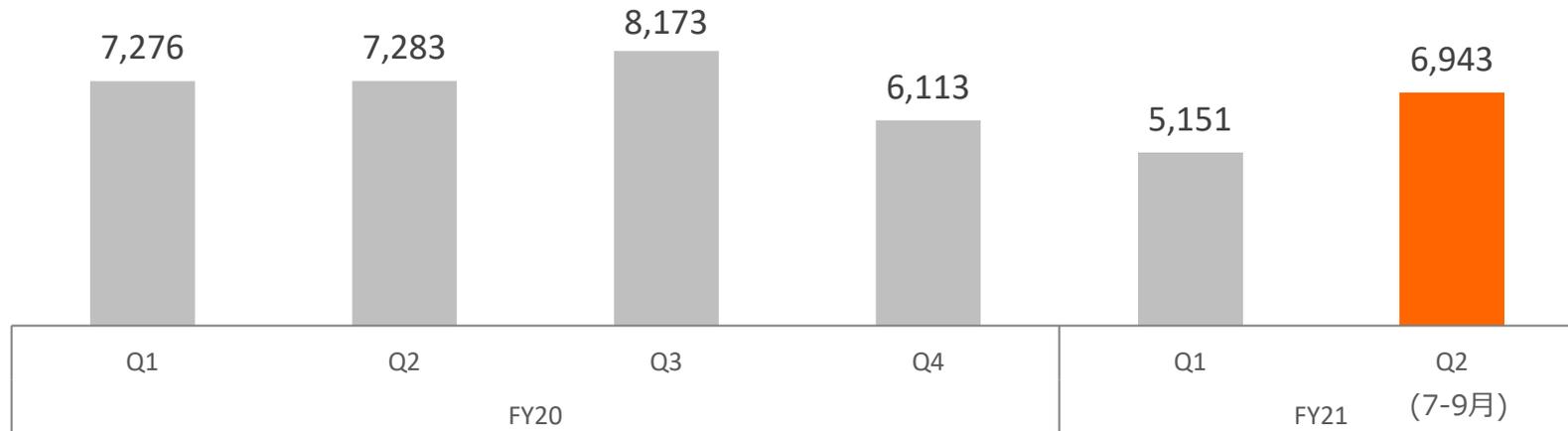


# 海外領域

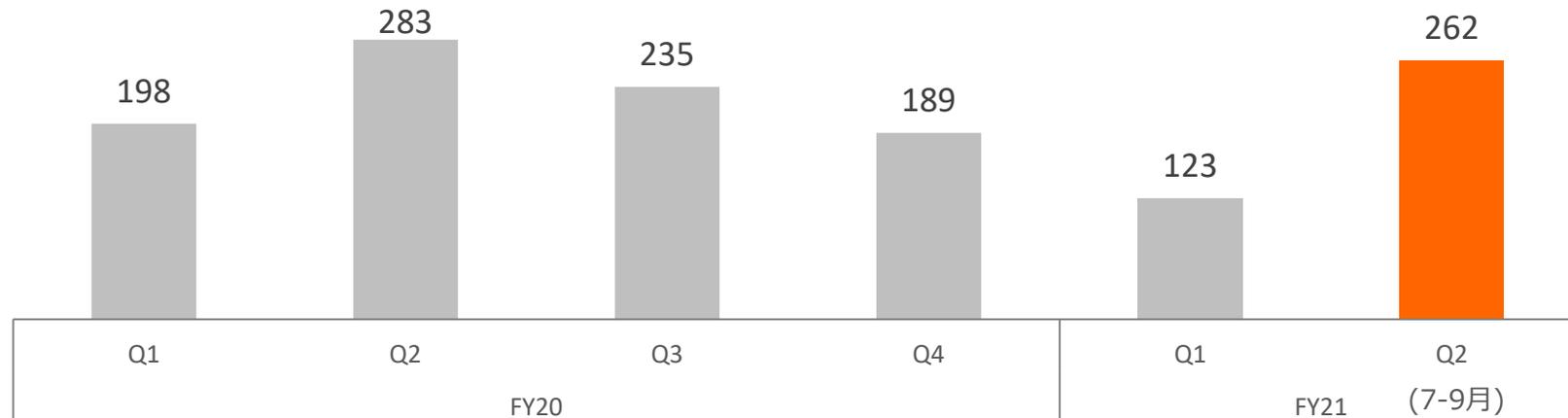
# 海外領域 四半期推移

- 売上高：Q1(4-6月)をボトムとし反転増収
- EBITDA：Q1比で大幅増益

## 売上高 (単位：百万円)



## EBITDA (単位：百万円)



※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

## ■ 健全な財務体質

## ■ 配当は継続成長。夢真HDとの合併による記念配当2円を加え、年間配当を44円に引き上げ

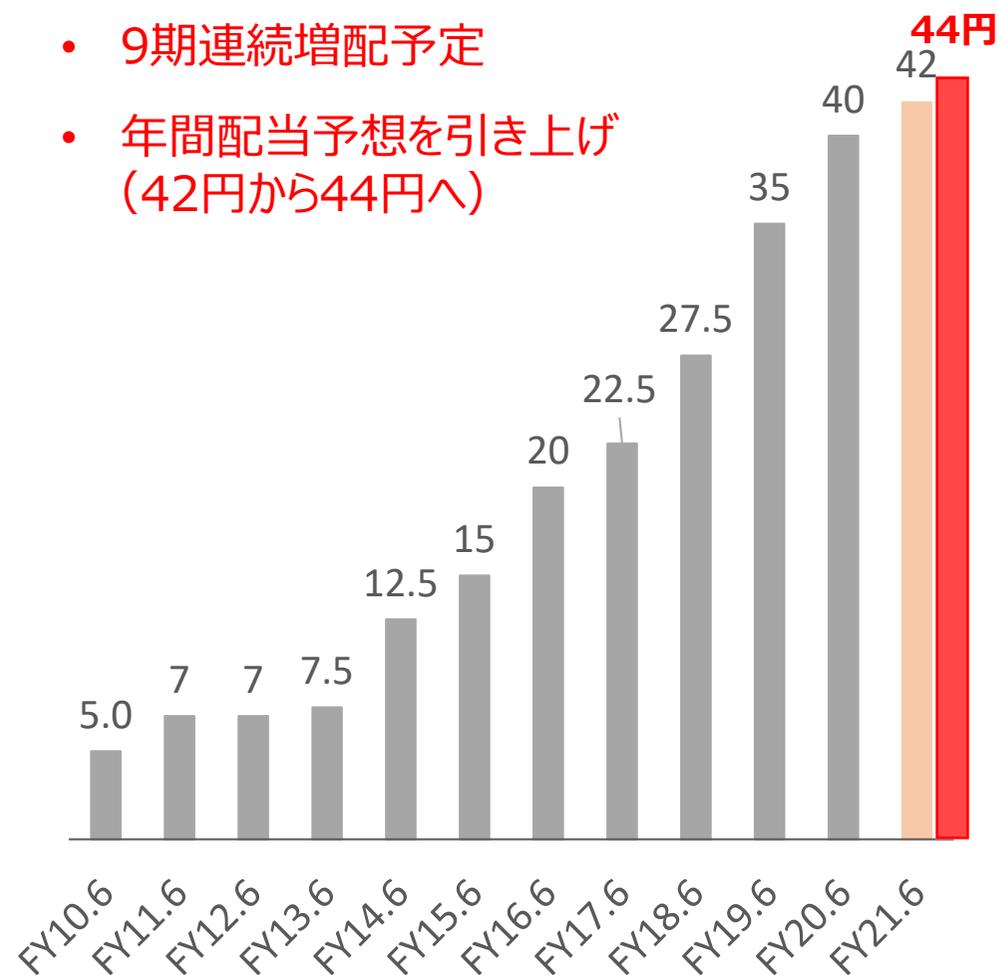
## BS

貸借対照表	FY20	FY21
単位：百万円	Q2	Q2
流動資産	20,891	21,660
うち現金・預金	8,396	8,821
うち受手・売掛	11,319	10,504
固定資産	10,408	7,992
うちのれん	6,096	4,196
総資産	31,299	29,652
負債	14,743	14,152
うち有利子負債	2,977	1,955
流動負債	13,161	13,386
固定負債	1,581	765
純資産	16,556	15,500
うち自己資本	16,153	15,687
利益剰余金	8,633	8,833
負債純資産計	31,299	29,652

自己資本比率	51.6%	52.9%
DELシオ	0.18倍	0.12倍
当座比率	1.59倍	1.62倍

## 配当

- 9期連続増配予定
- 年間配当予想を引き上げ  
(42円から44円へ)



## I 連結ならびにセグメント業績

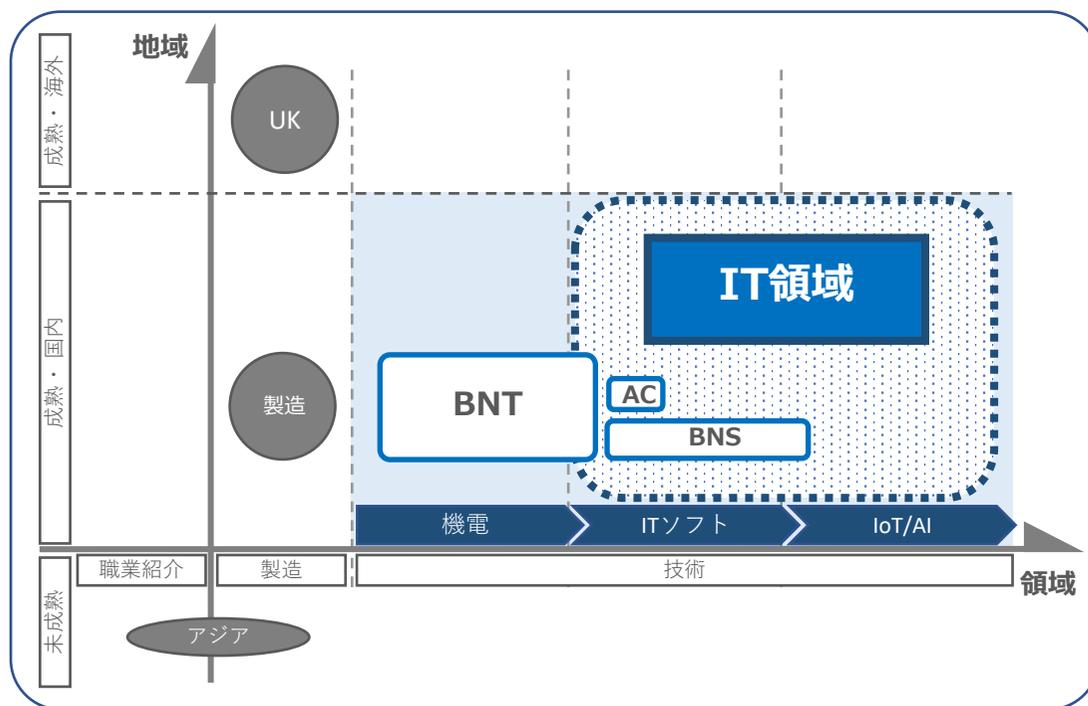
## II 経営計画の進展・今後の展開

# ① IT領域の強化

## ■ 8/21 修正中期経営計画の振り返り

「国内の技術系領域（とくにIT領域）を主軸に位置付け、リソースを集中」

## ■ IT領域の開拓：これまでの展開



- 5G・IoT時代を見据え、あらゆる産業でITエンジニアのニーズは高く、この傾向は今後も続く見込み
- 当社もIT領域への注力を掲げ、ITエンジニアが急拡大(とくにエントリーレベル)  
(ITエンジニアは当社エンジニアの41.5%を占める)
- 今後の課題は、設計・開発に携わるより**ハイスキルレイヤーの開拓**

# ① IT領域の強化

## ■ 1/6 システム開発会社のアロートラストシステムズがグループ入り

### ●アロートラストシステムズ(ATS社)の会社概要

事業：情報システムの設計・開発、保守

拠点：大阪、東京

社員数：180名 うち技術者167名

### ●業績推移

単位：百万円	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高	2,928	3,017	2,704
営業利益	150	218	256
利益率	5.1%	7.2%	9.5%

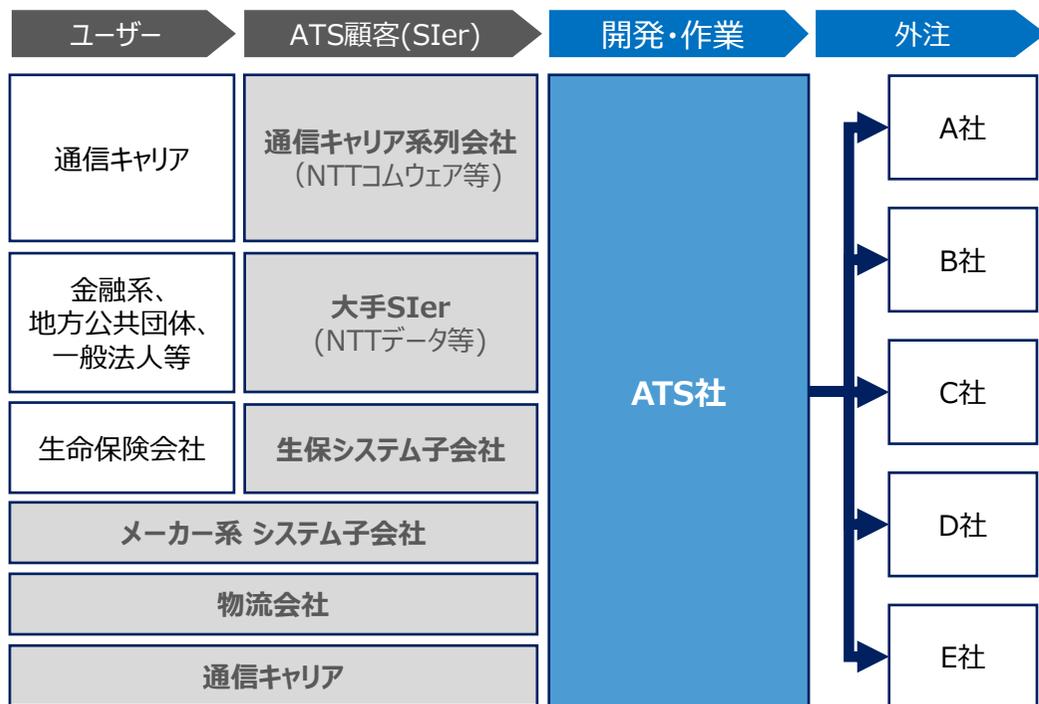
### ●会社年表

1962年	創業	都築通信建設（後のTTG）設立
1969年		東京本社でソフトウェア開発業務を開始
1975年		大阪支社でソフトウェア開発業務を開始
2007年	設立	TTGからの会社分割によりATSを設立
2008年		通信事業本部を設置
2018年		レフトキャピタルがATS社の全株式を取得
2018年		代表取締役坂本氏が就任(現任)
2021年		ATSがビーネックスグループに参画

# ① IT領域の強化

## ■ ATS社の当社グループ入りによる今後の期待について

### ● ATS社の主要顧客/ビジネスモデル



- 売上高の大半が、元請の大手SIerからの受注(二次請)やユーザー会社からの直接受注
- 10年以上の長期に渡り主要顧客からの受注を継続し、顧客のパートナー/有力協力会社に位置づけられている

### ● ATSのグループ入りによるIT領域事業拡大の可能性

- ① 顧客基盤の相互活用
- ② 当社グループ内のPM/PL\*人材層の拡充  
PM/PLをリーダーに、当社グループ横断でのチーム編成により派遣や請負機会を拡大
- ③ グループ内エンジニアへのOJT/スキルアップ機会の提供
- ④ グループの採用・人材獲得力の活用
- ⑤ クラウド等の新規拡大分野の研修プログラム/講師人材の相互利用

\*PM/PL:プロジェクトマネージャー/プロジェクトリーダー

## ② 1/29 夢真HDとの経営統合を発表

- 2021年4月1日に経営統合予定。社名は夢真ビーネックスグループ
- 経営統合に伴うのれん・通期業績予想については3Q決算発表時に開示予定

存続会社

B⇒NEXT

合併比率  
1 : 0.63



吸収合併



消滅会社



夢真ビーネックスグループ

(旧ビーネックスグループ；東証2154)

## ② 夢真HDとの経営統合：背景

### 1. 急速に拡大する技術者派遣市場

- 多様な働き方を許容する社会への移行
- 特にIT業界への高い人材提供需要

### 2. 両社の経営理念の親和性

- 望む仕事に就業する機会の創造と育成
- 働く人の喜びの実現、及び社会発展に寄与

### 3. 社内外ステークホルダーの満足度向上

- 社員の皆様へのより良い就業機会の提供
- 派遣先企業様の満足度向上

## ② 夢真HDとの経営統合：目的

### 1. 事業領域の強化

- 両社合算で技術者が主力の人材業界 2 位に
- 主力の機電、建設は両社で競合関係しない

### 2. 採用力・人材育成力等の強化

- 未経験者の採用力強化
- 人材教育・キャリアアップのノウハウ共有

### 3. 財務基盤の強化

- 企業規模の拡大による信用力向上
- 更なる大規模な業界再編・M&Aにも対応

## ② 夢真HDとの経営統合：業界順位

### 統合により第2位のポジションへ、更なる売上高・利益の成長を目指す

(各利益は会計基準の違いやのれん償却考慮せずの参考)

※ 期末売上高の単純合算

直近決算

技術主力			売上高	営業利益	経常利益	純利益
テクノプロ・ホールディングス	6月	IFRS	<b>158,407</b>	15,772	15,843	10,825
夢真ビーネックスグループ	6月	合算	<b>140,424</b>	9,972	9,847	4,892
メイテック	3月		<b>100,995</b>	12,926	12,975	9,093
アルプス技研	12月		<b>36,371</b>	4,014	4,098	2,908
フォーラムエンジニアリング	3月		<b>32,115</b>	4,079	3,753	2,135

製造主力

アウトソーシング	12月	IFRS	<b>361,249</b>	15,501	13,478	8,336
UTグループ	3月		<b>101,191</b>	8,040	8,113	4,509

直近決算

技術主力			売上高	営業利益	経常利益	純利益
テクノプロ・ホールディングス	6月	IFRS	<b>158,407</b>	15,772	15,843	10,825
メイテック	3月		<b>100,995</b>	12,926	12,975	9,093
ビーネックスグループ	6月		<b>81,755</b>	4,666	4,771	1,335
アルプス技研	12月		<b>36,371</b>	4,014	4,098	2,908
フォーラムエンジニアリング	3月		<b>32,115</b>	4,079	3,753	2,135

建設主力

夢真ホールディングス	9月	IFRS	<b>58,669</b>	5,306	5,076	3,557
------------	----	------	---------------	-------	-------	-------

製造主力

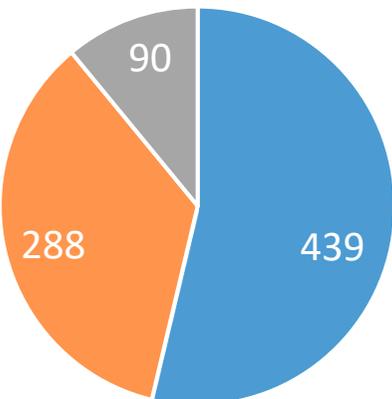
アウトソーシング	12月	IFRS	<b>361,249</b>	15,501	13,478	8,336
UTグループ	3月		<b>101,191</b>	8,040	8,113	4,509

統合

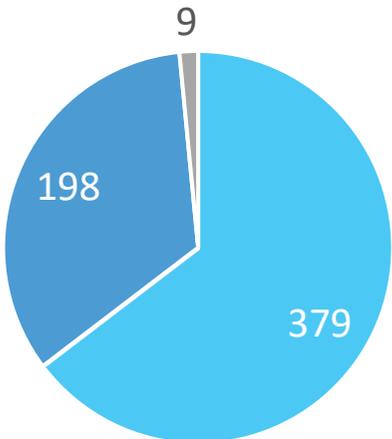
## ② 夢真HDとの経営統合：セグメント売上高

夢真HDの経営統合により技術系領域の売上高の割合が70%超に

ビーネックグループ

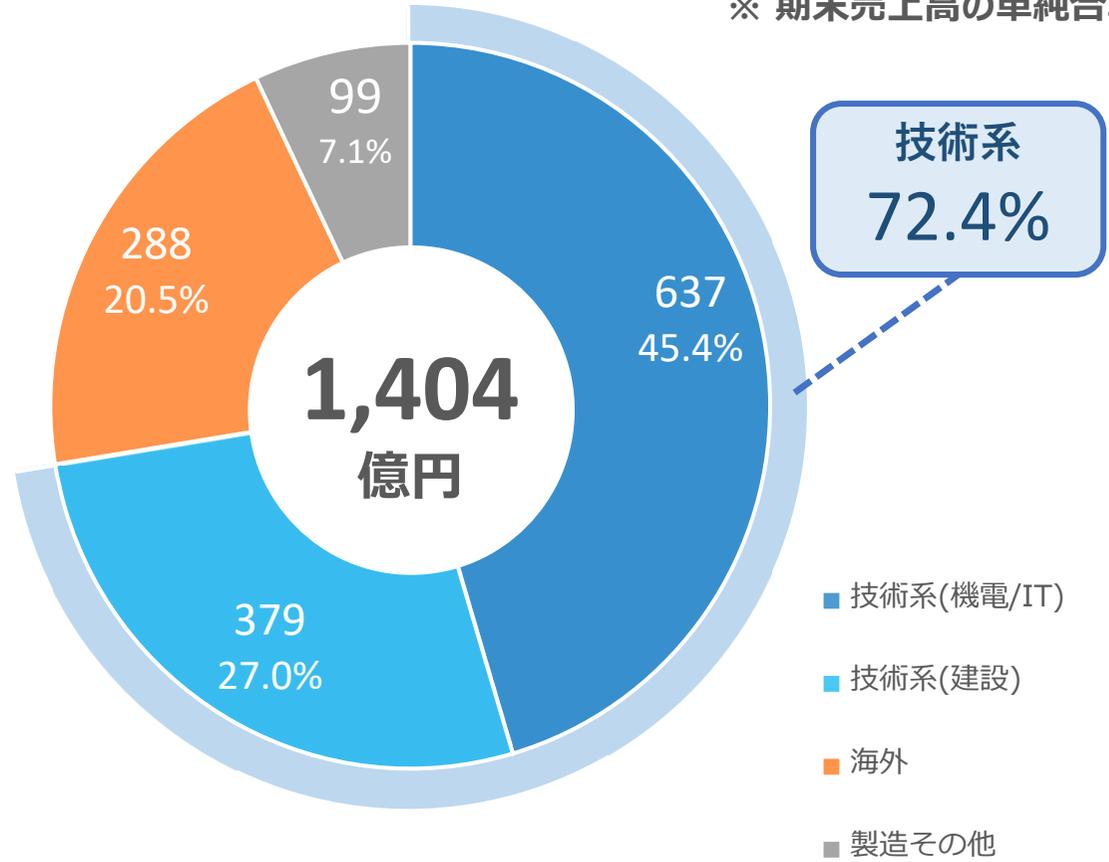


夢真ホールディングス



夢真ビーネックグループ

※ 期末売上高の単純合算



注1) 統合会社の技術系領域は、ビーネックグループの技術系領域セグメント+夢真ホールディングスのエンジニア派遣及び付随事業の合計額  
 注2) 統合会社のその他領域は、ビーネックグループの製造領域+夢真ホールディングスのその他事業

# 今回の統合について

## 免責事項

本資料は、当社の事業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

(お問い合わせ先) 株式会社ビーネックスグループ IR室  
TEL : 03-5777-7727 E-mail : ir-bnt@benext.jp